

## 三重県東員町

【テ - マ】持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（公共施設）

## みんなで見守る地域共創型公共インフラ維持管理体制の構築 【事業方式】コンセッション / 他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

道路・公園・上下水道・河川・公共施設などの公共インフラについて、町民や地元事業者の協力により、みんなで見守る地域共創型の維持管理体制「みんなも」の構築に加え、維持管理と地域活性化を一体で推進するエリアマネジメントを官民連携で実現する。

## ①解決したい課題

## 町のデータ

総面積 : 22.68km<sup>2</sup>

人口 : 25,525人 / 10,381世帯（令和7年12月末現在）

三重県の北部に位置し、町北部には、愛知県や近隣市町のベットタウンとして開発された住宅団地、また町の中心には14.5haの中部公園があり、緑があふれる環境で子育て世代に人気の町

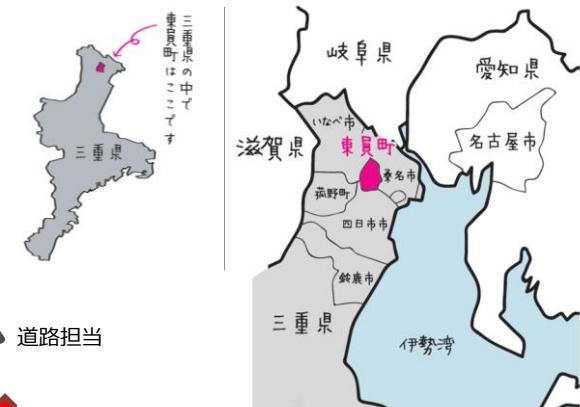
## 町の課題



- 漏水している
- 道路にゴミが散乱している
- 道路に穴が開いている
- 公園の木が越境している

道路延長 : 232.09km（令和7年4月末現在）

公共施設数 : 78施設



## 【課題1】多様な手段による情報提供

町ホームページ、#9910、道の相談室などのインターネットを介したもの、電話、窓口など、様々な手段による公共インフラに関する情報提供があるため、担当者は対応に追われている。



## 町民からの通報は貴重な情報源

公共インフラの維持管理を担う行政職員の減少や事務の増加により、道路をはじめとする公共インフラの日々の点検、パトロールができていないため、町民からの情報提供は大切な情報源。

## 【課題2】個別発注に伴う対応の遅延

各担当課の職員が情報提供ごとに個別に対応。入札などを経て、施工業者と契約をする必要があることから、事務が煩雑になり、対応が遅くなりがち。特に道路・公共施設においては、技術職員の減少により専門性の高い対応が困難になっている。



## 施工業者を探すもの一苦労

従前から公共工事を担っていた地元事業者が、高齢化や人手不足により、少額の修繕や工事を受注することが困難になってきている。

## 【課題3】対応記録の蓄積

各担当課の職員が対応した結果について、担当課ごとに管理していることから、役場内での横断的な共有がなく、事後保全対応の結果を予防的保全につなげることができない。



## 公共インフラ管理の効率化

行政職員、特に技術職員の減少により、今後は他部署管理の公共施設の工事をまとめて発注する、また道路工事の際に水道工事を組み合わせるなど、行政事務の効率化が必要不可欠。

## 三重県東員町

【テ - マ】持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（公共施設）

## みんなで見守る地域共創型公共インフラ維持管理体制の構築 【事業方式】コンセッション / 他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

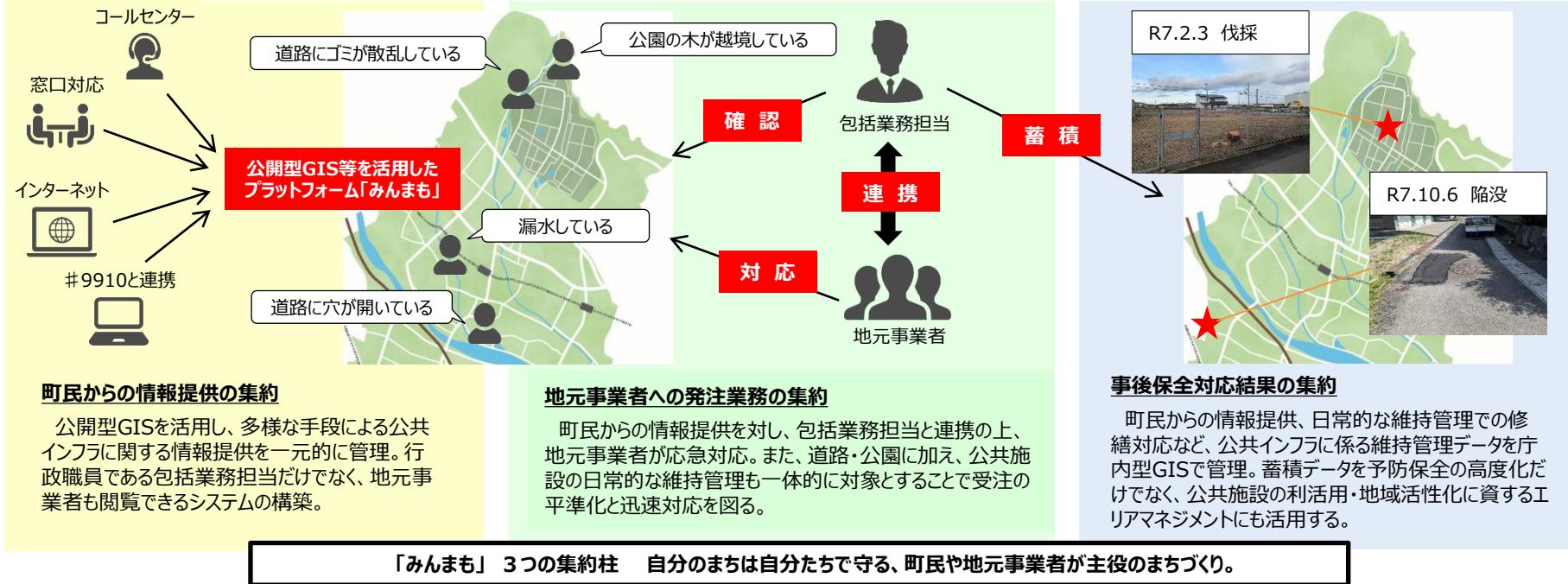
道路・公園・上下水道・河川・公共施設などの公共インフラについて、町民や地元事業者の協力により、みんなで見守る地域共創型の維持管理体制「みんなも」の構築に加え、維持管理と地域活性化を一体で推進するエリアマネジメントを官民連携で実現する。

## ②課題解決の方向性等

## 課題解決手法

テーマは、**公開型GISなどを活用したみんなで見守る地域共創型の維持管理体制「みんなも」**

技術職員減少下でも、維持管理と地域活性化を両立するエリアマネジメント型の官民連携スキームを検討する。



## ③課題解決のイメージ・効果

- 自治体：業務の効率化、DX等の活用による職員労力の省力化、コスト縮減、予防的保全対応へのシフト
- 町民：安心安全な公共サービスを享受、シビックプライド（地元愛）の醸成
- 地元事業者：安定的な受注、業務の平準化、持続的な業務の維持拡大

## その他

東員町では、第6次総合計画の目標の一つとして掲げている「主体的で特色のある地域づくりの推進」のため、令和6年度より「地域づくり応援課」を創設し、地域社会の基盤の構築と強化を図っている。

その一環として、老朽化した街区公園の遊具の更新を機会ととらえ、これからの公園のあり方を地元自治会と行政が一緒に考えている。このように、「まちづくりは我が事」である機運が徐々に浸透するなか、本提案である「みんなも」は本町のまちづくりに大きく寄与すると考えている。